



わたし、アナタ、min-na

No. 5

そのすがたがうれしい

IB 編

令和 4 年（2022年） 4 月 11 日 市立札幌開成中等教育学校 便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

「IB 国際バカロレアについて学ぼう」

IB の教育プログラムにはその発達段階に応じて全部で 4 つのプログラムがあり、本校では MYP と DP の 2 つを実施しています。それぞれのプログラムには「コーディネーター」という IB 教育の推進を担う教員がいて、本校には 3 人のコーディネーター（DP：黒井、MYP：ベルショー、CAS：ディクセット）がいます。IB のことでわからないことや、相談したいことがあればこの 3 人にいつでも相談をしてください。

IB の理念を深く理解し、それを行動していくことは永遠のテーマであり、決して簡単なことではありません。まずは IB が掲げる「IB の使命」について理解しましょう。

「IB の使命 “IB Mission Statement”」



校内のいたるところに貼られているポスターですが、しっかりと見ている人はそれほど多くはないと思います。ぜひ一度足を止めて、じっくりと読んでみてください。この使命を果たすために IB 教育は存在します。

最初に述べられていることは「**平和な世界に貢献する若者の育成**」です。国内外を含め、あらゆる出来事を自分ごと化し、考え、行動できる人材を育てることが IB 教育の目的です。

そして 2 段落目には、その目的を達成するために「**継続的な国際教育プログラム開発と評価**」に取り組むことが明記されています。IB は常に最新で挑戦的な国際教育を提供するために、プログラムは定期的に改訂され、学校はその運用が適切かどうか 5 年に一度、IB 機構より評価を受けます。今年の 2 月には MYP の評価を IB から受けて、本校が IB 校として国際基準を十分に満たし、適切に運用している学校であるとの高い評価を受けました。これは教職員だけでなく、生徒や保護者のヒアリングをもとに受けた評価となります。この評価訪問と呼ばれるプロセスは来年 2 月にもあります。

最後の段落では「**多様性の理解、共感的態度、生涯学習者**」について述べられています。この使命は IB 校に所属する教職員、生徒、保護者すべての人たちが常に意識をし、行動しなければいけない大切なものです。開成の教育は常にこの使命を意識でき、練習する場なければいけないということを表しています。

(文責：DPC 黒井)